

武士の成長と院政

名前 _____

_____ 月 _____ 日

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

武士はどのようにして現れ、院政のもとでどう力をのばしたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 武士団の成長

武士団の誕生

2 武士が一族や家来を率いてつくった集団。

3 武士団をまとめる、力のある武士。源氏と平氏が代表的。

6 10世紀中ごろ、関東で平将門が起こした反乱。

8 平泉(岩手県)を拠点に、約100年にわたって東北地方で栄えた一族。

10世紀ごろ、地方の政治が乱れて土地をめぐる争いが起こると、地方の豪族や有力な農民は

土地を守るために武装した。都でも武芸にすぐれた者が貴族の警護にあたった。こうして現れた

¹ 武士 は、一族や家来を率いて ² 武士団 をつくり、³ 棟梁 のもとにまとまった。⁴ 源氏 と ⁵ 平氏 である。10世紀の中ごろ、関東で ⁶ 平将門の乱、瀬戸内海で ⁷ 藤原純友の乱 が起こると、朝廷は武士の力でこれをしずめ、武士の実力を認めた。東北では、のちに ⁸ 奥州藤原氏 が平泉(岩手県)を拠点に栄え、⁹ 中尊寺金色堂 を建てた。地方の政治が
乱れる武士が現れ
武士団をつくる平将門の乱
藤原純友の乱
10世紀中ごろ朝廷が武士の
力を認める

2 院政の始まり

上皇の政治

12 位を退いた上皇が中心となって行う政治。

11 位を退いた天皇。住まいを院といった。

10 1086年に院政を始めた上皇。

14 大きな寺社が抱えた、武装した僧たち。

11世紀後半、藤原氏を母方の親戚としない天皇が即位すると、摂関政治はおとろえ始めた。

1086年、天皇の位をゆずった ¹⁰ 白河上皇 は、その後も上皇の住まい(院)で政治の実権をにぎり続けた。位を退いた天皇を ¹¹ 上皇 といい、上皇が中心となって行う政治を ¹² 院政 という。
上皇のもとには、全国から多くの ¹³ 荘園 が集まった。大きな寺社も荘園をもち、武装した ¹⁴ 僧兵 を使って朝廷に要求を通そうとした。上皇はこれをおさえるためにも武士を重く使い、源氏や平氏の武士が都で力をのばした。地方でも、荘園の管理を任された武士が力をたくわえた。できた / 14